

2018年3月期第1四半期決算説明会 主な質疑応答（要旨）

■2018年3月期通期業績予想の修正について

Q1：通期業績予想で修正した営業利益110億円の内訳は？

A1：収入面では、国際線で10億円、国内線で40億円、貨物郵便で20億円の増収などを見込んでおり、あわせて90億円の増収見込み。費用面では、燃油費の減により20億円減少見込み。その結果、営業利益は前回予想と比較して110億円上振れの見込み。

■国際線について

Q2：第1四半期の単価の状況は？

A2：レベニューマネジメントや客体構成変化により、前年対比6.8%上昇。

■国内線について

Q3：第1四半期の旅客数の状況は？

A3：前年の熊本地震影響からの回復を中心とした団体需要の増加、前売り系運賃の利用増大による個人需要の増加などにより、前年対比8.1%増加。

Q4：第1四半期の単価の状況は？

A4：他社との価格競争や前売り系運賃の利用増大により、前年対比1.8%下落。

以上